

議 事 録・報 告 書

会議名	令和元年度 第11回理事会				
開催日時	令和2年2月28日(金) 18:30~20:30	開催場所	KART 504会議室		
出席者	会 長 大内 幸敏 副会長 佐藤 英俊・田島 隆人 理 事 江川 俊幸・印南 孝祥・伊藤 今日一・松尾 清邦・金岩 清雄 引地 利昭・富安 恭子・松本 好正・津久井 達人・上遠野 和幸 前原 善昭 監 事 山崎 尚人・安部 真 欠席者 理 事 渡邊 浩				
議 長	大内 幸敏	議事録採集者	富安 恭子	議事録署名人	大内 幸敏 山崎 尚人 安部 真
議 題 (項目のみとし、審議内容及び結果について、2号用紙に記入のこと)					
1	前回理事会議事録の確認について				
2	報告事項 2-1 会長報告 <ul style="list-style-type: none"> ・南関東地域協議会 2019年度第2回役員会(拡大会議) 2月2日(日) ・第18回神奈川放射線学術大会 実行委員会 2月8日(土) ・第18回神奈川放射線学術大会 2月9日(日) ・藤原会計事務所との打ち合わせ 2月13日(木) ・神奈川県診療放射線技術講習会 / 四役会 2月16日(日) ・業務拡大に伴う統一講習会 2月22・23日(土・日) ・その他 県会員の動向 2-2 業務執行状況報告 <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会報告 				
3	審議事項 3-1 第18回神奈川放射線学術大会総括 3-2 第8回公益社団法人神奈川県放射線技師会定時総会 3-3 定款の見直し 3-4 会員退会・除籍の事務処理日程確認 3-5 講師謝金に伴う技師会事務所の事業所登録 3-6 JART 関連セミナー・講習会				

2020-2 月理事会 その他報告事項

1. 賀詞交歓会ご臨席のお礼 【公社 神奈川県栄養士会】
2. 令和2（2020）年度本会・都道府県技師会費の合算請求・収納について
【公社 日本診療放射線技師会】
3. 第10期よこはま乳がん学校 後期日程延期のお知らせ
【よこはま乳がん学校運営委員長】
4. 中区防火ポスターの掲出について（御依頼） 【中火災予防協会】
5. 令和元年度神奈川県原子力災害医療検討会（第1回）の開催について
【有限会社自然文化創舎】

*** 回答が必要な文書**

1. 横浜市立市民病院 新病院 関係施設向内覧会のご案内について
【横浜市立市民病院】3/12〆切
2. 令和2年度中火災予防協会 新入社員防災講習会の開催について（ご案内）
【中火災予防協会】3/19〆切
3. 「創立70周年並びに法人化40周年記念式典・祝賀会」
【公社 東京診療放射線技師会】
4. ご後援のお願い 【神奈川県管理士部会】

議題番号	報告事項 ・ 審議事項	
<p>議題 1</p>	<p>前回理事会議事録の確認について 前回議事録採取者、引地理事より報告 訂正事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日時：1月24日（木）→1月24日（金） ・ 2-2 業務執行状況報告 総務委員会： 役員選挙立候補届出の“公示”→“告示” <p>上記を修正することにより承認された。</p>	承認
<p>議題 2</p> <p>2-1</p> <p>2-2</p>	<p>報告事項</p> <p>会長報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2月2日（日）南関東地域協議会 2019年度第2回役員会（拡大会議）開催 来期南関東地域理事は篠原健一会長（東京都診療放射線技師会）の継続で承認された。 2. 2月8日（土）第18回神奈川放射線学術大会 実行委員会 開催 3. 2月9日（日）第18回神奈川放射線学術大会 開催 4. 2月13日（木）藤原会計事務所との打ち合わせ 審議事項に入っているため、審議事項にて報告。 5. 2月16日（日）神奈川県診療放射線技術講習会 / 四役会 開催 6. 2月22・23日（土・日）業務拡大に伴う統一講習会 開催中止 7. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県会員の動向（資料P10）について報告。 令和2年1月31日現在、会員1,576名、賛助会員37社 ・ 会費免除申請について <p>業務執行状況報告</p> <p>1. 総務委員会</p> <p>江川理事より報告 資料P3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JART 情報システムへの生涯カウント申請について 3月6日川崎市放射線技師会定例研究会は開催中止となったため、届け出を行った。 ・ 令和2年度理事会開催日および事務所休暇予定について 6月は関東甲信越診療放射線学術大会、7月は東京オリンピックが第4週目に重なってしまうため、1週ずらして開催予定とした。 <p>大内会長）10月に関しては、16日は日本放射線技術学会秋季大会と重なってしまうため、30日を候補とします。その他、開催予定日にその他学術大会等のイベントがないか確認していただきたい。</p> <p>江川理事）事務所の休暇も含めて来月の理事会までに確認いただきたい。</p> <p>印南理事より報告</p>	

特になし。

2. 財務委員会

伊藤理事より報告 資料 P11～16

・残高試算表（A）

現在の通帳残高および現金は資料の通り。

・残高試算表（B）

収入の部

新入会 5 名で 42,000 円、正会員の会費が 640,000 円の入金あり。内訳は資料の通り。新春情報交換会の会費収入として 1,100,000 円を計上。雑収益では、240,000 円を新春情報交換会祝金 230,000 円、神奈川県放友会の会議室使用料を計上。

支出の部

2 月に第 18 回神奈川放射線学術大会があった。

公 1) 第 18 回神奈川放射線学術大会会場使用料・花代として 185,810 円の支払。

公 2) 神奈川県診療放射線技術講習会講師 4 名分、上部消化管実践セミナー講師代として計 58,000 円を支払い。

公 3) 地区助成金を 12 地区に 197,200 円支払。

他 1) 新春情報交換会の会場費を 1,069,790 円崎陽軒に支払。

管理費) 特に大きな支出はなし。

大内会長) 会費納入率は 80.7%となっている。

3. 組織委員会

松尾理事より報告 資料 P 19

・総会議長、運営委員について

神奈川県放射線技師会総会運営委員に横浜西部地区 片野克彦委員、平塚地区 高野隼委員、湘南地区 堀田良平委員に承諾を頂いている。審議をお願いしたい。総会議長は横須賀三浦地区 早瀬卓矢委員、横浜南部地区 松井竜也委員の 2 名。

・3 月組織委員会について

事務所での会議は中止でメール会議とする。神奈川県放射線技師会総会の委任状回収について検討する。

金岩理事より報告

特になし。

大内会長) 神奈川県放射線技師会定時総会の議長、総会運営委員を承認でよいか。

江川理事) 総会運営委員会は何日を予定しているか。

松尾理事) 5 月 8 日の組織委員会前に開催を予定している。

江川理事) 承知しました。

承認

4. 学術委員会

引地理事より報告 資料P21～25

- ・かながわ放射線だより 掲載原稿について
早急に編集委員会に入稿予定。
- ・神奈川県診療放射線技術講習会 開催報告
第3回、第4回の実施報告書を資料に添付。本年度は、延べ人数で1081名の参加あり。前年度は816名であったため、200名程度増加となった。この実績をもとに来年度の神奈川県診療放射線技術講習会の内容を検討していきたい。
- ・セミナー開催報告
研究・発表・論文作成支援セミナー 1月31日(水)開催
講師：渡邊理事 参加者：15名（会員14名、非会員1名）
- ・セミナー開催予定
今年度開催を予定していたセミナーについては全て延期、中止となった。4月8日に開催予定であった第2回研究・発表・論文作成支援セミナーは渡邊理事から延期することが妥当であると判断いただいたので延期とした。
セミナーの中止に伴って、会場のキャンセル料が発生した。一般撮影実践セミナーは480円、研究・発表・論文作成支援セミナーでは800円程度のキャンセル料が発生となった。

富安理事より報告

特になし。

大内会長) 一般撮影実践セミナーは延期か。

引地理事) 講師先生とお話をさせていただき延期とした。来年度落ち着いた時期での開催を考えている。

5. 渉外委員会

金岩理事より報告 資料P27～28

- ・委員会開催について
2月の委員会開催は無し。3月4日に開催は予定しているが、メール会議になる可能性あり。
- ・イベント参加予定
4月4日、5日に相模原市民さくらまつり参加の予定だったが、本日急遽中止となった。そのため参加費の支払いは無しとなった。
5月以降にもイベントが控えているが、開催についてはまだ流動的。
- ・ピンクリボンアドバイザー
昨年12月に10名で受験し2月に合格発表があり、初級4名、中級6名全員合格。次年度も団体受験を検討している。

松本理事より報告

相模原市民さくらまつり中止の通知を受けて、共催する理学療法士会と連絡をとり参加中止とした。今後5月のイベントはどうなるかは現在のところは不明である。

6. 編集委員会

津久井理事より報告 資料P29～31

- ・ かながわ放射線だより 285 号 発行スケジュールについて
ディレクター：林委員 原稿締め切り：2月28日 発刊：3月30日
- ・ 来年度のかながわ放射線だより発行スケジュールについて
次回の理事会にて提案を予定。
- ・ 2月の編集委員会の開催はなし
- ・ 3月の編集委員会について
3月4日（水）に285号の編集作業を行うため会議予定。
山王印刷は社外打合せ制限がないため、技師会事務所にてデータの受け渡し等を行う予定。285号、学術委員会からの入稿をお願いしたい。
- ・ かながわ放射線だより 286号について
原稿締め切り：3月27日 発刊：5月7日
巻頭言：佐藤副会長 コラム：伊藤理事
これをもって神奈川県放射線技師会定時総会開催 2週間前までの発行となるため、このスケジュールで行っていく。286号に総会資料を同封する。
- ・ 285号、286号の目次案について
285号の地域だよりは横浜北部地区と川崎地区の予定であったが、横浜北部地区のみでよいか。川崎地区はどうする予定か。
松尾理事）今回横浜北部地区だけなので、次号に伊勢原・秦野区を加える予定。決定次第報告させていただきたい。

上遠野理事より報告

- 3月号に医療専門職連合会の広報誌が同封となるが、届いているか。
大内会長）確認できていない。
津久井理事）26日に事務所に届くと聞いている。
上遠野理事）今月末には届くと聞いた記憶がある。
引地理事）2月26日発刊と書いてあるので、来週には届くと思われる。
上遠野理事）山王印刷に渡すだけなので問題はない。
印南理事）3月号と5月号に総会のお知らせはここには記載ない。
上遠野理事）3月号はお知らせで、5月号は会告で掲載する。

7. 広報委員会

印南理事より報告 資料P33

- ・ 2月の委員会開催はなし
- ・ アクセス数について
紙面の通り報告。
- ・ セキュリティーソフト更新作業について
更新完了している。
- ・ バナー更新
準備ができ次第、第36回日本診療放射線技師学術大会に更新予定。

・共有サーバー運用について

マニュアルと運用指針等がまとまったので、送信させていただく。各委員会で検討し運用していただきたい。問題点等あれば連絡いただき、対応していきたいと考えている。

フォルダは、会長・副会長・理事会・各委員会を作成している。広場は全員が共通で使えるもので、写真などが入っている。理事会フォルダは、理事のみが入れるようになっている。必要、不必要なフォルダについては整理したいと考えている。意見をお願いしたい。

津久井理事より報告

編集委員会ではすでに共有サーバーを運用している。広場には各委員会のフォルダを作れるようになっているので、最初から共有できるようなデータに関しては、広場のほうに置くのが良いと思う。

8. 厚生委員会

前原理事より報告 資料P 35～40

・厚生委員会 2月6日に開催

ボウリング大会について検討を行ったが、中止となった。申し込み者は25名。20日に中止案内等を行った。ボウリング場、懇親会会場についてはキャンセルを行ったが、キャンセル料の発生はしていない。その他、準備等に費用発生はしていない。

・令和元年度会員調査について

働き方改革の部分について先に報告させていただくため、P37～40の4ページ分を先に3月号に掲載をお願いしたい。

一般的な働き方改革をどのように感じているかの他に、担当した武笠委員が、退職者は、職場環境でどのような年齢の方が多いか、年齢別の退職者について考察している。年齢別の退職数については不明確な部分もあるが、若い女性が退職してしまう人が多い理由について検討し、職場復帰してもらうためには技師会として、復職を目指す女性技師のためにリハビリ講習などをしてあげるのも良いのではないか、といった提案などもしていますので、確認をお願いしたい。

9. 災害対策委員会

佐藤副会長より報告 資料P 41

・2月の委員会開催はなし

・自然放射線測定について

2月25日現在、報告件数は6件

・会議の出席予定について

神奈川県原子力災害医療検討会は、2日前に県より中止の連絡があり。

10. 医療被ばく最適化推進委員会

前原理事より報告 資料P 43～60

<p>議題 3 3-1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の委員会開催について 開催を予定していたが、メール会議に切り替え。 ・CT調査結果発送について 後に審議事項あり。 ・CT論文について 遅れていましたが目途をつけて投稿するため、小川委員と渡邊理事とで最終的な詰め作業を行っている。投稿先について委員会の中でも JART 誌 4、JSRT 誌 1、どちらでも良い 6、一任 3。投稿先について理事会の意向があれば意見をお願いしたい。 ・検討事項について 一般撮影に関する論文のネイティブチェック、IVR/血管造影に関する調査結果の論文化、ならびに 2020 年度第 2 回一般撮影線量調査実施について話を進めている。 ・研究、発表、論文支援セミナーの延期について 5月29日で話を進めている。 ・CTの調査結果について（審議）資料 P47～60 資料には各施設へ送付の挨拶状。グラフ等の説明と返信データのデータ表を添付。グラフは一般撮影の時と同様に施設は判らなくなっており、自分の施設線量と DRLs を比較する形式となっている。 送付先としては、会員施設 211 施設、非会員施設 216 施設の計 427 施設。送料、費用については資料の通り。発送について、3月末までに発送を行いたい審議をお願いしたい。 <p>大内会長) CT 論文投稿先について、意見があるか。 前原理事) 執筆者の意向というところではあるが、意見をいただきたい。 大内会長) 発送に関しては、費用は予算内なので問題はない。案内文については、誤字・脱字等あるようでしたらまだ時間があるので、一度確認しメールで連絡をするように。 前原理事) メールで送付していますので確認をお願いしたい。発送については、アンケートをとった時と同様大内会長と CT 研究会の飯塚代表幹事の名前で送付予定。追記事項等あればお教え願いたい。</p> <p>松本理事) 研究、発表、論文支援セミナーが 5月29日となっているが、定時総会後の開催ということでよいか。 前原理事) 再度日程調整する。</p>	<p>承認</p>
	<p>審議事項 第 18 回神奈川放射線学術大会総括 江川理事より報告 別紙資料 2月9日コロナウイルスの影響が心配であったが、無事に開催することができた。</p>	

垂れ幕、お弁当等色々なトラブルはあったのが、良い学術大会となったのではないかと思っている。

参加者は、参加登録者 224 名（うち学生 8 名 一般市民 8 名）。

協力いただいた先生方への御礼状と、後援いただいた行政、関連団体へ本日付で報告書を提出。また合同シンポジウム、各種セミナーにおいては担当者よりメールで御礼の挨拶をしていただいている。

市民イベントブースについて松尾理事より報告 別紙資料

・アンケート結果について

診療放射線技師 1 名、一般市民 8 名全員からのアンケートを回収。

年齢：広きに亘っており偏ることはなく、若い方の参加もあり。

居住地：横浜市内の方が 3 割ぐらい、それ以外も県内の方であった。

イベントをどこで知りましたか：

ホームページが意外と少なく、知人・友人、チラシ・広報誌がアンケートの中では効果があった。

参加してどうでしたか：ほとんどが満足されていた。

市民イベントで面白かったのはどれですか：

各ブース市民の方が興味をもって訪問いただいた。放射線・被ばく相談、乳がん触診、食育子のおすすめレシピに投票をいただいた。

診療放射線技師という職業を知っていましたか：7 割ぐらいの方が知っていた。

講演・イベントのご感想・お気づきの点 2 件：

ありがとうございますという意見と、外食・コンビニ食講演に間に合わなかったという残念なコメントも頂いている。

・乳がん触診体験 訪問者数は、市民の方 8 名全員で診療放射線技師を含め 9 名。

・今後は自然の被ばく線量について、資料をまとめてはとの話も出た。総括して、市民ブースは行ってよかった。

収支について伊藤理事より報告 別紙資料

・収入の部：

224 名の登録で、登録料は 448,000 円。学術向上基金から取り崩しとして 1,000,000 円を予定していたので、合計 1,448,000 円で運営。

・支出の部：

会場費：159,810 円

会場整理費：26,000 円

講師料：川村郁子講師 100,000 円、渡邊浩講師 30,000 円、加藤木圭一講師 10,000 円、渡邊博之講師 5,000 円、Quo カード 2,000 円分を 27 名に配布。

印刷代：抄録集 282,678 円。最後に 3 万円位上がったが、それは演題取り消しによる割版の分である。次回は、予定外の事象発生を抑えることができれば 30 万円あれば抄録集は可能である。

管理費：通信運搬費 3,930 円。当日タクシー使用料、前日準備の駐車場代。

事務用品費は印刷用紙、ボールペン、サインペン、イベントパス（ネームホルダー）を入れて 24,571 円。

旅費、交通費は非常に少なく抑えられている。今回実行委員には当日分と会議日数を加味し合算して一人 13,000 円支給し、当日実行委員には一人 3,000 円支給することとした。

会議費 32,044 円。雑費 6,828 円。

支出合計は 1,121,234 円となった。

・収支

収支差額は、326,766 円。これは学術向上基金に戻し入れとなる。

大内会長) 2年後の学術大会開催の参考として何か決算以外で意見はあるか。

松本理事) イベントを何で知りましたかとの質問にて配布チラシで 37.5%とありますが、具体的な場所はわからないか。

松尾理事) 市民の方には聞いていない。

田島副会長) 今回は母数が少ないので、あまり参考にできない。

松本理事) イベントで効果的にチラシ配布ができるのではないかと考えた。

津久井理事) 会場にもよるとは思うが、会場設営は前日の準備が無ければ、当日だけでは難しかったのではないかと思う。良い判断であった。前日にマイクの音量チェックまで行っていなかった。実際に始まってみると音量にかなり差があり、音漏れがひどかったので次回からはそのチェックをした方が良いと感じた。

大内会長) 決算に関して何かあるか。

伊藤理事) お弁当が 50 個位余ってしまった。次回は考えたほうがよいと思う。

大内会長) 実行委員の人数を含めても今回の規模でお弁当 200 個は不要である。この規模であればお弁当の個数は 150 個でと参考にしておきたい。

安部監事) 会計の説明で、総括資料に伊藤理事説明のものとは別の収支報告書がありますが、どうして 2 種類あるのか。

伊藤理事) 総括資料に添付している報告書は、後援名義をもらったところへ提出するための簡単な収支報告書となる。

3-2 第 8 回公益社団法人神奈川県放射線技師会定時総会

江川理事より報告 資料 P4~P7

・定期総会開催日時について

5 月 29 日 (金)、会場は横浜市技能文化会館で開催。

・3 月号のかながわ放射線だよりに 総会の“お知らせ”を掲載しますので審議をお願いしたい。

津久井理事) 委任状は参加できない人だけ提出であったか。参加のチェック欄は無かったか。

印南理事) 委任状には、出席とチェックする欄がある。

大内会長) “お知らせ”については承認をお願いしたい。

承認

- ・ かながわ放射線だより 5月号掲載“会告”とスケジュールについて
次回理事会までに確認をお願いします。先ほど津久井理事より説明があったのですが、発送が5月7日となりますので添付のスケジュールで総会資料を作成しく予定である。
- ・ 事業報告の提出について
各委員会の事業報告について次回の理事会までに提出していただきたい。
- ・ 委任状について
委任状には県の立入検査時に指摘事項を今回入れている。第7号議案、第8号議案については総会に出席した人だけではなく、有権者全ての方が理解できるようにとの指摘があり、この文章を盛り込んでいる。次回までに確認をお願いしたい。
- ・ 書面評決の中に第6号議案定款“改定”となっているが、大内会長と話し合いを行い“改正”と変更する。会告についても同様に変更。

伊藤理事) 第2号議案の決算は報告で良かったか。

印南理事) 会告には審議を記載しているが、委任状には審議の記載はしていない。

江川理事) 委任状に但し書きが書いてあるので良いと思う。次回に文章の確認をお願いしたい。

松尾理事) 会告で神奈川放射線技師会となっていて、“県”が抜けている。

江川理事) このような誤字脱字についても次回理事会までに確認をお願いしたい。

大内会長) お知らせはこのまま掲載し、来月の理事会で会告等の確認を行う。

継続

3-3 定款の見直し

大内会長より報告 資料P1

定款の第1章第1条“県外”の部分、第3章第5条“診療”を付加の有無についての見直しをと考えている。変更案を出したが、二役で相談をして第9回神奈川県放射線技師会定時総会で定款見直しを予定ということとした。

定款改正は3分の2の出席と委任状を採らなければいけない。通常の神奈川県放射線技師会定時総会では委任状は半数を少し超えるくらいの回収数である。どのようにすると委任状を集めることが可能か江川理事に回収案を考えていただいた。第8回神奈川県放射線技師会定時総会の委任状回収をその方法で行い、反省改善を行い第9回神奈川県放射線技師会定時総会の時に3分の2以上回収できるように生かしたい。

定款改正については、会員にも経緯に関して前もって広報をしておく必要があると考えている。会員にどのような方法で経緯を広報していくかを考えながら、定款改正についてじっくり進めていこうと考えている。

山崎監事) 定款改正に関して、公益移行への定款説明を歴代会長に行った際に第1条の本会の名称に診療を付けないことについて質問が出ました。その時窪田会長が答えたのは、大震災などで医療関係以外のところに行くこととか、医療関係以外で放射線業務を行っている人達なども含め、放射線に関する啓蒙、啓発を行いたい

で診療を外したと説明されています。このような経緯も知っておいて頂きたい。
第5条の会員に関しては、第2条の目的と第3条の事業に関わります。本会の目的は神奈川県民の保健の維持に寄与する。事業は目的達成に向けて4事業を挙げています。これらの事業は神奈川県内にて行うと明記されています。社団法人神奈川県放射線技師会当時の定款においても同様です。会員の構成については目的と事業の範囲から県内に居住もしくは就業という言葉が入っています。公益社団法人の定款作成にあたり、モデル定款が示される前に県に参照となる物は何かないですかと聞いたところ、同じものが送られてきました。従って、県内云々の文言は県からの指導で入っていると思われます。そのことも念頭において下さい。本会の目的も事業も全て神奈川県内です。同様に神奈川県知事から認定を受けている薬剤師会、看護協会も同じ文言が使われています。

大内会長に確認しておきたいのは、県の担当の方が改正しても良いですと話をされた時は、こちらから出す条文は見えていないですね。

大内会長) 電話で条文照らし合わせて確認した。

山崎監事) 条文を提示して了承をとっておいた方が良い。公益に移行の際に一言一句全部チェックをされました。その経験から理事会で検討した条文を県に提出し、了承を得てから総会に向けて会員に公表して3分の2以上の賛成が得られれば神奈川県放射線技師会定時総会(以降:定時総会)に報告で済むのではないかと。

田島副会長) 臨時総会ということか。

山崎監事) 臨時総会ではなく、第9回神奈川県放射線技師会定時総会でよい。県から改正条文が了承された時点で改正理由を付けて会員に公表して、賛否を問う。但し、第1条と第5条は条文の性格が違いますからそれぞれに賛成反対の表決してもらって返してもらおう。それが3分の2以上の賛成が揃えば、第9回神奈川県放射線技師会定時総会で報告するだけで済みます。

佐藤副会長) 定款は報告だけでは駄目ではなかったか。

山崎監事) 定時総会でこのような形で会員の賛同を得ましたと報告すれば議事は通ります。というのは、公益社団法人の定款を作るときも同じ方法でやりました。臨時総会は開きましたが、3分の2以上の賛成を得ましたから報告だけでした。

大内会長) 書面表決で秋とか春に。

山崎監事) いつでも構わないですが、3分の2以上集めるには時間がかかります。公益社団法人への移行の時は期限が切られていて、定款を作らない限りは次に進めないという事情がありました。今回は第1条と第5条を改正するだけです。それぞれの条文に書面表決で3分の2以上の賛成を得た時点で定時総会に議事として挙げて定款を改正しますという報告すればよいではないですか。

田島副会長) 定款には総会を開催してではなかったか。そのように書いてあったと思う。

山崎監事) 総会の決議ですから、その前の準備はしても良いのではないかと。

大内会長) 第8回神奈川県放射線技師会定時総会では定款改正は行わない。

江川理事) 会告の第6号議案で定款改正について審議と記載している。

大内会長) 削除する。

<p>3-4</p>	<p>山崎監事) もう一点。総会運営規定の第 11 条第 2 項の委任状は議長委任とすると記載されている。しかし、委任状は会長委任となっている。整合性をとるように。大内会長) これについても次回、理事会資料で出し審議する。</p> <p>会員退会・除籍の事務処理日程確認 資料 P9</p> <p>大内会長より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除籍について <p>神奈川県放射線技師会除籍に関してですが、日本診療放射線技師会に合わせるということで神奈川県放射線技師会除籍の人を5年延ばしていたのを全員2年未納で除籍することになる。</p> ・除籍予定者数について <p>KART 除籍予定者 61 名、JART 除籍予定者 27 名、年度末退会予定者 16 名の合計 103 名。</p> <p>山崎監事) JART 除籍予定者は、日本診療放射線技師会のみの方ですか。 大内会長) 日本診療放射線技師会 2 年滞納で神奈川県放射線技師会もそれに合わせている。日本診療放射線技師会と神奈川県放射線技師会に入っている方。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会手続きについて <p>日本診療放射線技師会は2月、3月には入会手続きをシステム停止している。神奈川県放射線技師会は今まで、その期間に入会希望があった場合にも入会手続きをしていた。3月に入金があっても4月からの入会金としているので、日本診療放射線技師会が入会停止している時に前受け金が発生しており、会計の煩雑作業が解決できる。本会も日本診療放射線技師会に合わせて停止期間をもって行おうと考えている。審議いただきたい。</p> <p>印南理事) 4 年滞納、5 年滞納などが載っているが、本日合算請求データが届きこれから作業を行っていくが、神奈川県会員の猶予期間が終わり、今回から日本放射線技師会と滞納除籍期間を合わせることができる。滞納除籍となった方が再入会する場合、滞納金額を5年滞納の人は5年分にするのか。または2年分の滞納金額を支払って入会というかたちとするのが良いか。</p> <p>江川理事) 5 年滞納している人は5年なのではないか。 伊藤理事) 本来はそうだが、5 年の猶予期間を設定したのはこの理事会である。3 年以上の滞納者リストデータを持ち続けなければならない。これを機に普通の方と同じ2年にしてしまえば、5 年滞納した方が再入会したいと来た場合にも普通の方と同じ2年分とできる。</p> <p>江川理事) それは神奈川県のみ入会の会員についてか。 大内会長) 神奈川県のみ会員の方を5年引き延ばしたということなので、そのような話となった。 伊藤理事) 当会は神奈川県放射線技師会のみを認めているので、神奈川県放射線技師会だけでも再入会は可能である。</p>	<p>継続</p> <p>承認</p>
------------	---	---------------------

	<p>印南理事) ここで2年と決めてしまった方がこれからの台帳、会員システムのにもすっきりする。スムーズに運営を行なえるのではないかと考えて提案を行なった。田島副会長) 猶予期間に関しては、日本診療放射線技師会にあわせるために神奈川県放射線技師会で勝手に引き延ばしを行っていたので、再入会となった場合は、一律2年分滞納分と入会金としていいのではないかと。</p> <p>大内会長) 滞納除籍になった方は、“2年滞納分と入会金で認める”を内規で記載する。</p> <p>3-5 講師謝金に伴う技師会事務所の事業所登録 大内会長より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経緯について <ul style="list-style-type: none"> 一年前に事務員を採用した際に確定申告を行いたいというがあり、確定申告を行うためには事業所登録しなければということで藤原会計事務所の青柳先生と一度相談を行ったが、扶養範囲内で仕事を行う旨の申し出があり税務署への事業者登録は行わなかった。今回、講師謝金に関して確定申告したいとの申し出が講演を依頼した講師からあり、再度、藤原会計事務所に相談したところ事業者登録することを勧められた。 事業者登録すると、本会が支払う講師料と事務員の給与に関して税金を納めることとなる。 <p>伊藤理事) 2020年に事業者登録を行うと、さかのぼって1月から申請を行わなければならないため、神奈川県放射線技術講習会の講師料なども関係してくる。この前の学術大会は処理済みであるが、神奈川県放射線技術講習会の講師謝金に対しては受取り者の氏名と自宅住所と金額を青柳先生に報告しなければいけない。処理を学術委員会でお願したい。</p> <p>引地理事) 今後はどのようにしたらよいか。</p> <p>伊藤理事) 今後は、領収書は名前と源泉徴収に記載された住所を書いてもらい、その都度報告となる。</p> <p>大内会長) 藤原会計事務所がその税処理を行ってくれるということで、今までの契約料に追加した契約料を藤原会計事務所に支払うこととなる。四役に一任していただきたい。</p> <p>3-6 JART 関連セミナー・講習会 田島副会長より報告 資料 P21</p> <p>最後に開催する予定であった統一講習会は中止となりました。来年度は東京で7回開催されますので、受講されていない方は参加していただけるよう広報していただきたい。</p> <p>3-7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙管理委員会より立候補者名簿の報告 <ul style="list-style-type: none"> 県立入検査で総会議事に関しては理事会が把握しておかなければならないと 	承認
--	--	----

	<p>いう指導があった。選挙管理委員会より立候補の報告が届いたので、理事会にて審議をする。</p> <p>江川理事) 立候補者名簿を3月号の会誌に載せなければならない。</p> <p>上遠野理事) 3月号掲載なので、承認は今理事会でお願いしたい。</p> <p>田島副会長) 理事会で承認は必要か。</p> <p>佐藤副会長) 確認はしておかないといけない。</p> <p>山崎監事) この前はどのような指導を受けたのか。</p> <p>田島副会長) 議事録に載っている必要があるということであった。</p> <p>大内会長) 総会の議事は全て理事会で承認をしなければいけない。立候補者シークレットというのが慣例でしたが、なぜわかっていないのかとの指摘を受けた。</p> <p>山崎監事) この立候補者であることを承認すればよい。</p> <p>大内会長) 今回は定員割れではないですが、選挙管理委員会から1名理事会で推薦しても良いとなっている。推薦期限はあったか。</p> <p>江川理事) 総会資料作成前までとなる。</p> <p>大内会長) 理事に立候補された方は、大内幸敏氏、田島隆人氏、江川俊幸氏、伊藤今日一氏、金岩清雄氏、松尾清邦氏、引地利昭氏、富安恭子氏、津久井達人氏、渡邊浩氏、前原善昭氏、安藤聡志氏、木本大樹氏、吉田篤史氏の14名、監事の方は、安部真氏、佐藤英俊氏の2名である。審議いただきたい。</p> <p>大内会長) 名前順は名簿順なのか。</p> <p>田島副会長) バラバラなので会員番号順がいいのではないか。</p> <p>伊藤理事) 立候補届の届け出順では。</p> <p>大内会長) 本当は届け出順である。</p> <p>田島副会長) 今回はメールなので、届け出順は判らない。</p> <p>大内会長) 会員番号順でいいのではないか。監事の先生方どうですか。</p> <p>山崎監事) 会員番号とするならば、統一すればいいのではないか。届け出順が正しいのですが、わからないのですね。</p> <p>大内会長) 理事会で会員番号順でとしたので、選挙管理委員に伝えるように。</p> <p>・六ヶ所村「日本原燃 原子燃料リサイクル施設」見学記（神奈川県放射線友の会）について</p> <p>管理士部会の濱田氏で参加した、原子燃料リサイクル施設の見学記が届きました。当初200部作成予定で会員に30部くらい配布予定とのことでしたが、結局50部作製しか認めてもらえなかったため、2役と事務所の計4冊を頂いた。</p> <p>・委員会について</p> <p>金岩理事) 委員会の会議はメール会議を推奨するのか。</p> <p>津久井理事) 編集委員会は、膨大なメールのやり取りが発生してしまうため、一度集まって行い、その後はメールでやり取りしようと考えている。</p> <p>大内会長) メール会議を推奨する。できるだけメールで会議を行うように。</p> <p>・会費免除申請について</p> <p>会費納入規程第6条4項に基づく会誌購読料免除申請1名の申請があったの</p>	承認
--	---	----

	<p>で、承認をお願いしたい。</p> <p>・ 回答が必要な文書</p> <ol style="list-style-type: none">1. 横浜市立市民病院 新病院 関係施設向内覧会のご案内について 【横浜市立市民病院】3/12ㄨ切 4月9日（木）です。希望の方は事務局まで。2. 令和2年度中火災予防協会 新入社員防災講習会の開催について（ご案内） 【中火災予防協会】3/19ㄨ切3. 「創立70周年並びに法人化40周年記念式典・祝賀会」 【公社 東京診療放射線技師会】 大内会長、佐藤副会長、田島副会長で参加予定。4. ご後援のお願い 【神奈川県管理士部会】 後援します。	承認
--	---	----

以上